

2011年度

科目名	絵画・工芸(含、理論)				
担当教員	田中 孝治				
配当	教福1(6213)		コード	22017	
開期	通年	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	基礎造形概論とその技法を修得する。				
目的と概要	幼児や児童の造形的な成長・発達段階に見られる「表現」の特質や傾向を理解し、幼児や児童の造形的な創造活動の意義について探究する。本授業では、主として表現にある基本的な事柄を実技実習し、その技法を体得していく。 特に、「線表現」「面表現」「色彩表現」「立体表現」「工作表現」「鑑賞」の各領域から、教育現場で行われている学習の実際を体験していく。				
成績評価法	・平常の学習態度及び製作活動の様子(20%)・提出作品(40%)・テスト(40%)などによって総合的に評価する。				
テキスト	使用しない。				
参考書	必要に応じて紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	授業に必要な材料・用具を準備し、作品のアイデアを考えて各授業に臨むこと。 授業時に配付するプリント類は、きちんとファイルしておくこと。				
講義計画					
第 1 回	レタリング	明朝体・ゴシック体			
第 2 回	線表現にある基本的な事柄	一本線描法			
第 3 回	デッサン	鉛筆デッサン			
第 4 回	パスの持ち方、塗り方	線塗り・面塗り・点塗り			
第 5 回	パスの技法①	混色・スクラッチ			
第 6 回	パスの技法②	ステンシル・フロタージュ			
第 7 回	パスの技法③	バティック			
第 8 回	水彩絵の具による色遊び	ドリップング・ブローイング・デカルコマニー			
第 9 回	水彩絵の具の基本的な事柄①	濃淡・明暗・透明色と不透明色			
第 1 0 回	水彩絵の具の基本的な事柄②	混色・重色			
第 1 1 回	水彩絵の具の技法①	にじみ・ぼかし・かすれ			
第 1 2 回	水彩絵の具の技法②	スタンピング・ストリングデザイン			
第 1 3 回	版画の種類とそれぞれの手法	いろいろな版種の理解			
第 1 4 回	紙版画づくり①	切り取り紙版画の版づくり			
第 1 5 回	紙版画づくり②	紙版画の印刷			
第 1 6 回	鑑賞のあり方	夏休みの課題作品の相互鑑賞			
第 1 7 回	貼り絵の技法	コラージュ			
第 1 8 回	金工作	空き缶を材料にした工作			
第 1 9 回	紙工作①	紙工作に必要な材料・用具の扱い方の理解			
第 2 0 回	紙工作②	自分の考えた作品をつくる			
第 2 1 回	紙工作③	細部まで工夫して完成させる			
第 2 2 回	粘土表現	紙粘土を使って立体につくる			
第 2 3 回	木工作①	木材及び用具類の扱い方の理解			
第 2 4 回	木工作②	デザイン及び木取り			
第 2 5 回	木工作③	組み立て・接着・接合等を経て完成			
第 2 6 回	色彩に関する用語	色彩に関する概論の理解			
第 2 7 回	西洋の美術史	西洋の絵画・彫刻・建築の歴史の理解			
第 2 8 回	日本の美術史	日本の絵画・彫刻・工芸・建築の歴史の理解			
第 2 9 回	学習のまとめ①	得意分野の楽しい造形			
第 3 0 回	学習のまとめ②	基礎造形概論及び造形技法を生かす道			
・この授業で製作した作品類は教育実習等の教材研究の有効な参考資料となるので大切に保管のこと。 ・各個人の製作活動に必要な材料費は別途徴収する。					